

2022年 8月 子育てワンポイント

## テーマ 「きょうだいへのかかわり」

兄弟姉妹のなかの立ち位置や関係によって性格形成や人生の進路、生き方まで影響を受けることがあります。きょうだいがいる事で我慢しなければならないことなどもあるけれど、やはりお互いを尊重し合って育っていただけたいですね。認め合えるきょうだい関係を育むためには、子どもたちとどう向き合えばいいのでしょうか？

### 上の子

親の期待を一身に受けがちだったり、下の子が生まれたりしたら突然「お兄ちゃん」「お姉ちゃん」という役割を担うようになる。甘え上手な下の子を見るとうらやましくなる。

### 真ん中の子

上下にきょうだいがいるのでもしかすると他のきょうだいより気を遣うことができ、自分が甘えたくてもがまんする傾向にある。

### 下の子

上の子を見て育っているのが甘え上手で要領がよい。

### 《認め合える兄弟姉妹関係を育むために》

#### ① 上の子のプライドを大切にする。

「上の子だからこれくらいできて当たり前」ではなく、思いっきり褒めるなど、上の子が上の子として誇りを感じられるような接し方をする。

#### ② 比較せず、その子自身の魅力を見つけて評価する。

「おにいちゃん是可以るのに…。」ではなく、その子自身の良いところを見つけ本人に伝えてあげる。

#### ③ 兄弟げんかを成敗しない。

ケンカになった際、成敗するのではなくお互いの言い分をとことん聞くことで双方ともクールダウンできることもあります。

「おにいちゃん是可以るのに…。」ではなく、その子自身の良いところを見つけ本人に伝えてあげる。

#### ④ 「平等に接する」ではなく「個々の子どもと向き合う」

自分の個性を認めてもらっていると感じられると、他のきょうだいの事も認められるようになっていく。

#### ⑤ きょうだいで何かに取り組む経験を。

レジャーの計画を立てる、料理を共同で作る、一緒に買い物へ行くなど。共同で取り組む体験の中でお互いに相手の良さに気が付き敬う気持ちが生まれることもある。

運命で出会ったきょうだいという仲間。幼い頃、きょうだいで体験したことや一緒に見た景色を、大人になってから皆でまた一緒に振り替えることができるよう、子どもの時期の関係を親がサポートしていただけたいですね。

